

# だんだん通信

2016  
3月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。

## 余寒

未だ寒さが残る季節。  
空や木や人は冷たい空気に包まれ、  
侘しささえも感じられる。  
だがそろした「まち」からは、  
静かに近づく春の予感を覚える。



**今までありがとうございました。**  
大学の中では決して経験できないことをたくさん学ぶことができ、男山は私たちにとても一つの居場所になりました。卒業してもだんだんテラス、男山での関わりを忘れず頑張ります！またふらっと帰ってきます！これからもよろしく願います！ 福間航

# 世代交代

だんだんテラスの学生が入れ替わります！

**これからよろしくお願いします。**  
僕たち学生は、住民さんでゆっくり環境を作っていければいいなと思っていますので、まだ顔も名前も分からない状態だとは思いますが、どうか温かい目で見守って頂けたらなと思っています。今年もだんだんテラスをよろしく願います！ 橋本 祐紀



## ■ 予定

### 学生お別れ会&歓迎会

実施日：3月21日(月・祝)  
時 間：12:00～  
主 催：だんだんテラス  
場 所：だんだんテラス  
申し込：不要  
内 容：4月で入れ替わる学生達と地域の方との交流会・お昼ご飯の持込みOK。ご飯をシェアして楽しみましょう！

### だんだん朝市

実施日：毎週火・木・日曜日  
時 間：10:00～完売まで

### だんだん Dang Dang BAR

実施日：毎月第2、第4金曜日  
時 間：18:00～21:00

### ラジオ体操

主 催：だんだんテラスの会  
実施日：毎日  
時 間：10:00～

### オレンジカフェ

実施日：3月18日(金)  
時 間：14:00～16:00

主 催：八幡市高齢介護課  
場 所：だんだんテラス  
申し込：不要

内 容：認知症予防に関心のある高齢者を対象に、認知症についての講習会やレクリエーションを行います。

### ハガキ絵教室

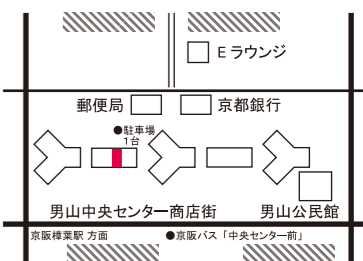
実施日：毎月第2、第4月曜日  
時 間：10:30～11:30  
参加費：600円

### のら猫不妊手術相談会

主 催：八幡地域ねこを考える会  
実施日：毎月第3木曜日  
時 間：14:00～16:00

### お気軽歴史講座

主 催：八幡の歴史を探究する会  
実施日：毎月第2木曜日  
時 間：10:30～12:00  
参加費：100円  
内 容：「町の成り立ちと神人の活躍」



## だんだん通信

住 所：京都府八幡市男山八望 3-1 B47-104  
男山中央センター商店街  
アクセス：京阪バス「中央センター前」下車  
Eメール：dandan.terrace@gmail.com

### だんだん通信 3月号

発行日：2016年3月1日  
発行元：だんだんテラスの会  
編 集：辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト  
河股智矩 / 関西大学大学院  
塚原健司 / 関西大学大学院  
福間航 / 関西大学大学院

S さん (竹園在住)

第20回 だんだんテラスと私

20年以上続いている朝の散歩。緑が多く季節の花が咲く男山団地の中は楽しい。心と身体を癒してくれる。ある日、いつもの散歩コースで見慣れぬ集団を目にした。あれっと思いつつその時は通り過ぎた。別の日、集団はラジオ体操をしていて納得した。そしてだんだん通信を見てラジオ体操は朝10時からと知った。日頃は朝早くだんだんテラスの傍を通っているのに気付かなかったのだ。それからしばらくして散歩の時間を丁度ラジオ体操に間に合うように調整して、思い切って参加してみた。入会手続きのようなややこしいことは何もなく、参加したい人がその人のペースで楽しんでいようだった。久々のラジオ体操で散歩と違う爽快感を味わった。仕事をしている人、一人暮らしの人、病院通いの人、様々な人達が集まって笑顔で体操する時、学生時代に戻ったような不思議な幸福感を感じた。それ以来、知人友人にだんだんテラスに通っていると話している。誰もが知っているラジオ体操、大人になったらめったにしないラジオ体操、大人にならなくなった今ではお茶に誘ってくれる新しい友人もいる。ラジオ体操はだんだんテラスの間の広い入口です。

#### 第十五回 だんだん句会 選句

空部屋に居坐る余寒なぎ倒す  
真沙

# 男山 やってみよう祭り

2016年3月19日(土)

時間 / 12:00~16:00 活動報告会 / 13:30~14:30  
 場所 / UR 男山団地中央センター商店街



「男山やってみよう会議」は、「住みたい、住み続けたい男山地域」であるために、幅広い世代が集い、まちづくりの方向性や具体的な取組みについて議論を重ね、何が出来るかを話し合い、できることから「やってみる」実践型の会議です。活動報告会を「男山やってみよう祭り」と題し、市民体験型で開催します。

## A つくろう!エコクラフト!

牛乳パックを使ったエコクラフトを作ろう! [無料]

## B 防災ってなあに?

防災スゴロクやジーンズリュックの作り方を学びます!

## C 流れ橋の丸太でイスづくり!

丸太で「みんなのイス」をつくり色を塗ります! [無料]

## D 復活!おとこやま展望室

団地高層棟にある“幻の展望室”が限定復活 [先着 100名]

## E おいしいお茶の入れ方講座

日本茶インストラクター 松田一男氏による講座 [定員 20名]

## F 子ども会議 × やってみよう会議

子ども達が考案した「八幡飯」や「竹つぎりレー」が実現!

- 12:00** はじまり  
 Aエコクラフト B 防災 C イスづくり E お茶の入れ方講座  
 F 八幡飯・お茶・焼き鳥のふるまい
- 13:30** 活動報告会  
 ○市長あいさつ(八幡市長)  
 ○全体の取組み(まちの公共員)  
 ○チームからの活動報告(各チーム)  
 ○おわりに(京都府府民力推進課)
- 14:30** 展望室 (各ブースや報告会の参加者に整理券を配布します)  
 Aエコクラフト B 防災 C イスづくり E お茶の入れ方講座
- 16:00** おわり

団地の屋上にある展望室に登れるらしい! そうらしい!

主催 / だんだんテラスの会  
 協力 / 京都府 / 八幡市 / UR 都市機構 / 関西大学

# 「やってみる」 1年間の活動報告

男山やってみよう会議は、「住みたい、住み続けたい男山地域」であるために、幅広い世代が集い、まちづくりの方向性や具体的な取組みについて議論を重ね、何が出来るかを話し合い、できることから「やってみる」実践型の会議です。活動報告会を「男山やってみよう祭り」と題し、市民体験型で開催します。

会議から生まれたチームが6つの催しを企画しています。活動報告会ではチームの活動趣旨や実践プロセス、来年度の目標を発表します。

会議のメンバーは、「この1年間自分が地域の為にできることは?と継続して考え、実践してきたが、振り返ると様々な場面で自分自身が地域に支えられているという実感が湧いてきました。」と話すように、男山やってみよう会議は、大勢の方々にご協力を頂きながら広がりをみせてきました。是非、「男山やってみよう祭り」にお越しください。

## 1年間の会議プロセス!

3/1・14・28 4/18 5/16 6/20 7/18 8/8 9/12 10/17 11/21 12/19 1/16 2/20 3/19

<b>対話</b> ・男山のええとこ、ほっとけないとこ ・やってみよう会議7箇条づくり ・会議の心得、他已紹介	<b>5チーム結成</b> ● DIY ● 夢プロジェクト ● 防災 ● まち歩き ● 居場所	<b>協働</b> 京都八幡高校科学部さんが実験に協力してくれました。40名の子どもが集まりました。	<b>情報発信</b> 11/14 竹灯籠 11/14 秋祭り 12/6 防災訓練 11/29 境界を歩くまち歩き	<b>活動報告会</b> 1/15 出張報告

**サポーター**  
 まち歩き、だんテラ拡充・継承チームには、新たに協力してくれるメンバーが加わりました。

**コラボレーション**  
 「子ども会議」で小・中・高校生が提案した提言の実現に向け、コラボレーションをしました。

## 会議から生まれたチームを紹介!

<p><b>夢プロジェクトチーム</b>                  男山の緑道や八幡の歴史を題材にイベントを開催。地域の魅力を発信し、男山地域のPRや活性化に取り組んでいます。</p>	<p><b>ヤバいまち歩きチーム</b>                  地域を歩いて、地域の人とお話をして、地域のヤバい(=魅力)を再発見するまち歩きを企画します。</p>
<p><b>DIY チーム</b>                  ものづくりを通して、世代間の交流を図り、DIYの精神で住みやすい地域を目指します。</p>	<p><b>だんテラ継承・拡充チーム</b>                  子どもから高齢者まで気軽に集まれるだんだんテラスを地域で受け継ぎ、活動を広げることを目指しています。</p>
<p><b>防災チーム</b>                  日常の暮らしから防災について考える地域づくりのために私たちは活動します。</p>	<p><b>事務局チーム</b>                  各チームの活動が円滑に進むように、時には見守り、時には一緒に汗をかいてサポートします。</p>

## 多様な主体と協働できました! - 夢プロジェクトチームのケース -

<p>「夢プロジェクトチーム」の売りは、チームメンバーの仲間意識。時間のない中でも集まって、話し合いを怠りません。</p>	<p>京都八幡高校科学部さんと協力して開催した「フィラメント実験」。50人を超える参加者が集まり、「エジソンの夢」を体験しました。</p>	<p>2度目のイベントは「竹灯籠づくり」はNPO法人八幡たけくらぶさんにご協力頂きました。活動を通して、助けてくれる仲間が増えています。</p>
---	---	--